



松林小だより

令和5年1月31日
学校便り No.12
羽村市立松林小学校

東京都羽村市羽4122-2 電話 042-554-7800



「興味・関心」⇒「意欲」

校長 鳥居 タ子

1月24日(火)に5年生が立川にオープンしたばかりの「トウキョウグローバル ゲートウェイ (TGG)」に校外学習に行ってきました。TGGでは、「イングリッシュ スピーカー (ES)」と呼ばれる外国人講師によるアクティビティーが用意されており、子供たちが英語でコミュニケーションを図りながら、活動を通して英語だけでなく多様な文化等を学ぶことができます。当日の午前中は、海外での買い物疑似体験をしました。自分が欲しいものを店員役のESに伝え、店員からの質問に答えるなどの体験をしました。また、午後は、国によって、「当たり前」とされていることが違うことを学び、その学びを通して、相手を理解し、尊重することの大切さについて考えることができました。子供たちと関わるESは、身振り手振りが大きく、活動の様子に合わせてジェスチャーを交えながら声の調子を変えたり、マスクを付けていてもわかるくらい表情豊かに子供たちに接してくれました。子供たちは、その勢いに導かれるように、あっという間に活動に引き込まれていきました。一生懸命にESの言葉を理解しようと向き合う子供たちの表情は、真剣そのもの。これまで学校で学んできた英語を駆使し、ESとのやりとりを楽しんでいる様子が伝わってきました。

校内では、1月26日(木)に市内で建築のお仕事をされている一級建築士の関口博之さんをお招きし、まつのご学級の児童を対象とした「わくわくワーク」を行いました。「わくわくワーク」は木材の端材を

活用し、自分たちの作りたいものを制作する活動です。事前に危険なことへの注意喚起を行い、あとは、子供たちが自由に創作活動を行います。「のこぎり」「金づち」「くぎ」「穴あけ」初めて使う道具に悪戦苦闘しながらも子供たちは「作りたいもの」を想像し、様々な形の端材から必要な材料を選び、どうすれば形になるかを考えながらの2時間でした。作業中は、思うように形にならないものをどうすればよいか、関口さんに質問したり、先生に手伝ってもらったりしながら、作業に夢中になる子供たちの姿がありました。休み時間には、隣の教室で授業をしていた2年生が活動の様子をのぞき見。「何やってるの?」「私たちもやってみよう」と興味津々の様子でした。授業の終わりのチャイムが鳴るころには、子供たちが心に描いたものが、次々と形になっていきました。関口さんが座っていた椅子を気に入り、自分も作ってみたいと言っていた1年生は、見事に自分が座れる椅子を作り上げていました。世界でたった一つのオリジナルの椅子に座り、関口さんと肩を並べる姿は、自信に満ち溢れていました。

TGGでの5年生の姿や「わくわくワーク」でのまつのご学級の子供たちの姿に共通しているのは、どちらも子供たちが意欲的に取り組んでいたことです。意欲的に取り組んだ先には子供たちの「達成感」がありました。この子供たちの姿が教えてくれた学びに大切なこと、今後の松林小学校での教育活動に生かしてまいります。



縄跳び月間



1月は縄跳び月間でした。児童一人一人が、自分の決めた目標に向けて練習をしてきました。校庭に縄跳び練習板を設置し、児童が楽しみながら上達できるよう、環境を工夫しました。

また、1月24日(火)・31日(火)には、縦割り班で長縄に取り組みました。6年生が上手にリードし、長縄の楽しさを味わうことができました。 縄跳び月間担当

学校美術館 1/20(金)～1/27(金)



職員玄関ギャラリーに、「アートインはむら」出品作家である貴俵秀行さんと富永之廣さんの作品を展示しました。期間中には、各学年の児童が図画工作の「鑑賞」の学習を行いました。

子供たちは、作品から感じたことを言葉に紡ぐ中で、一人一人の感じ方の違いや共通点に気付き、いろいろな見方を楽しみました。また、授業参観の日は、貴俵さんによる6年生への出前授業も行われ、制作秘話やなぜ作品をつくり続けるのかなど、ご自身のことを語っていただきました。日常生活の中で目にふれる「アート」の存在に、これからもハッとしたり、心が動くような経験をしたりできるといいですね。

作品を提供いただいた皆様、PTA主催事業として準備にご尽力いただいた役員の皆様、誠にありがとうございました。 図工専科

社会科見学 3年 1/11(水)

3年生が、昔の暮らしの様子を学ぶため、郷土博物館の見学に行ってきました。

旧下田家住宅、郷土博物館、昔の道具の特別展示の3つの見学グループに分かれて活動しました。旧下田家住宅では、暖房ではなく囲炉裏で家の中を温めたり、ガスではなくかまどで炊事を行ったりしていた昔の暮らしに触れることができました。また、家の中では全員が石臼体験もしました。

郷土博物館や特別展示の見学では、昔の道具や写真を見て、今の道具や学校の様子の違いに気付き、学びを深めていました。 3年担任



校内書写展・授業参観 1/21(土)



今年度最後の授業参観日は、本当にたくさんの保護者の方にご参観いただくことができました。子供たちが、教室で意欲的に学ぶ姿を見ただけではなく、昔遊びに取り組んだり、異学年での交流活動を行ったり、収穫したお米でおにぎりを作る活動をしたり、文化祭的な活動を行ったり、松林小の良さを存分に伝えることができた授業参観となったのではないのでしょうか。

また校内書写展として、各教室の廊下に子供たちの素敵な作品を掲示しました。保護者の皆様に自分たちの作品を見てもらうことができ、子供たちも本当に嬉しそうでした。

お忙しい中、ご参観いただき、本当にありがとうございました。

4・5年生 箏体験 1/25(水)



箏演奏家の稲葉美和先生を招き、4・5年生が日本の伝統楽器である箏を弾く体験活動を行いました。演奏の仕方を学んだ後、2時間たっぷり箏に触れ、練習しました。練習に励むうちに爪の当て方もどんどん上手になり、力強い音色を出せるようになりました。

2時間夢中になって取り組み、「できた〜!」「すご〜い!」など拍手と歓声が響きました。ちなみに演奏した曲は4年生が「ラバースコンチェルト」、5年生は「新時代」のさびの部分です。子供たちはいつもと違う音色を楽しんでいました。

不審者に注意 何かあったら110番

最近、警察から「松林小学校の近くで不審者が出た」との情報がありました。学校では登下校時になるべく複数で行動すること、怪しい人がいたら距離を取ること等を指導しています。ご家庭でも、防犯ブザーが鳴るか時々ご確認いただくとともに、登下校や習い事の際の安全確保について話題にさせていただければと思います。また、児童から「不審者に会ってしまった。怖い思いをした。」という話を聞いた場合は、速やかな110番通報が、児童の安全確保や犯人発見につながります。よろしくお願いいたします。 生活指導主任

給食費納入のお願い

給食費は、給食の食材費の購入に使われています。未納があると、必要な食材を購入することができなくなり、子供たちの給食メニューに大きく影響が出ます。給食費の納入は、口座振替となっています。残高が不足していると引落としができません。定期的に銀行残高の確認をしてください。

○給食費 【低学年3870円】 【中学年4040円】 【高学年4210円】

○引落とし日 【2月分→2月27日(月)】 【3月分→3月6日(月)】

※3月の給食費は、各学年の給食日数をもとに調整します。

今年度最後の納入まで、未納ゼロへのご協力をお願いします!